

今月の
スマイルさん
Everyone to be happy with a smile.



かほちゃん(6歳、左)
なつきちゃん(2歳、右)

「伊庭の坂下し」でお会いしました

5/6

「百済寺樽」復活プロジェクト

百済寺でつくられていた幻の銘酒「百済寺樽」の復活を目指して、酒米「玉栄」の田植え体験が百済寺町でありました。この体験は愛東地区地域おこし協力隊の比嘉彩夏隊員が地域資源を生かした事業を行おうと企画されたものです。

酒米づくりを体験する「体験型 幻の銘酒オーナー」として14人が参加され、女性は早乙女姿になり手作業で田植えを体験しました。

参加した高野裕子さん(八日市緑町)は、「田植えは足を取られて大変だったけど、和気あいあ



いで楽しかった。おいしいお酒ができるよう育ててほしい。」と話しました。今後は、酒づくりの見学、写経、読経、草鞋づくりなどを体験し、来年1月に新酒試飲会が行われます。

5/10

里山を探検！ 里山保育

玉緒幼稚園で里山保育が実施されました。里山保育は、子どもたちが五感すべてを使って自然の中で発見し、生きる力を養うことを目的に実施しています。

当日は玉緒幼稚園のきりん組(5歳児クラス)の25人が参加しました。

教室で「河辺いきものの森」の職員から里山に入る際の注意点や里山にいる動植物の説明を聞いた後、幼



①「河辺いきものの森」の職員の話に聞き入る ②草むらや河辺で生き物や花などを探す



5/6

漕ぎましょう！SEA TOSUMMIT プレイベント

6月3日(土)、4日(日)に県内で初めて開催される「びわ湖東近江 SEA TOSUMMIT」のプレイベントが「能登川水車とカヌーランド」周辺で開催されました。

小雨の降るなか、市内外から20人が参加し、カヤックとSUP(スタンドアップパドル・サーフィン)で本番を想定した伊庭内湖から琵琶湖までのコースを往復しました。

プレイベントを企画した実行委員会の白井和男さん(栗見出在家町)は、「SEA TOSUMMITは自然を満喫できるイベントです。ほかの県で開催されるどの大会よりも盛り上がるように準備しています。たくさんの方に参加していただき、東近江市の素晴らしい自然を感じてほしいです。」と話しました。



①SUPで橋の下をくぐり漕ぎ進む ②2人乗りカヤックで息の合ったパドルングに笑顔があふれる ③カヤックの操作説明を聞く ④思い思いに伊庭内湖から琵琶湖までを漕ぎ進む ⑤ようやくゴール地点に到着

5/4

勇壮に神輿を下ろす 伊庭の坂下し

織山で3基の神輿が下る奇祭、「伊庭の坂下し祭」が行われました。織山の山頂付近にある織峰三神社から約500メートル先の大鳥居を目指し、神輿を下ろす神事で、滋賀県の無形民俗文化財として選択を受けています。

神輿は三ノ宮、八王子、

二ノ宮と呼ばれ、二ノ宮は重さが500キログラムにもなります。巨石が続く難所では初山と呼ばれる初めに神輿を担う少年を神輿の先頭にさせて、足場の悪い急斜面を勢いよく下ります。なかでも二本松といわれる難所は、岩肌が露出した約6メートルの急斜面で一番の見せ場です。

長年、祭りに参加している田中久米治さん(伊庭町)は、「少子化で若い人が少なくなり、この先、3基の神輿を下ろせるかどうか。やっぱり祭りには若い人の力が必要ですね。」と話しました。

①宮出しを待つ ②水田を見下ろしながら下る若衆ら ③観客に見守られながら、難所「二本松」の急斜面を下る神輿